

議会だより やがわ

No. 52

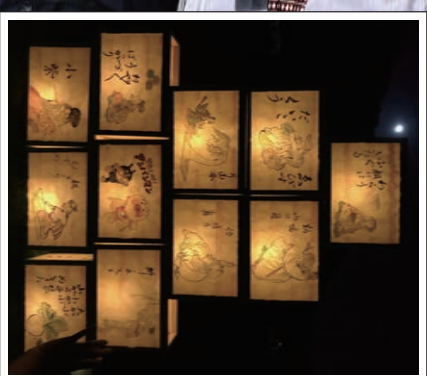
平成30年8月10日

栃木県那珂川町



主な内容

- 5月臨時会・6月定例会の結果 (2P~5P)
- ここが聞きたい！ 一般質問(6人) (6P~11P)
- 議会・委員会のうごき (112P~15P)
- キラリ☆まちおこし・編集後記 (16P)



テーマ(集い)

今年も元気にラッパショイ!!

(松野ノ坂神社 子ども神輿)

〒324-0692 栃木県那珂川町馬頭555

電話0287 (92) 1170

発行/栃木県那珂川町議会

編集/那珂川町議会広報特別委員会

e-mail gikaido@town.nakagawa.lg.jp

旧本庁舎・旧小川庁舎 本年度解体へ

旧小川庁舎跡地には子育て支援住宅を予定 旧本庁舎跡地の利活用は未定

◆町長提出議案・・・議案7件を議決、報告2件

◆議会提出議案・・・陳情2件を採択

「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書」提出へ

平成30年第3回那珂川町議会定例会は、6月5日に開会し、会期を7日までの3日間と定め、一般質問のほか、農業委員会委員任命同意、旧本庁舎解体工事等の請負契約締結などの審議を行いました。

人事案件

19人目の農業委員を同意 3月定例会での否決1名

◆那珂川町農業委員会委員の任命

同意 (全員賛成 原案可決)

定員19名の農業委員会委員は、3月定例会で18名の任命に同意し、1名の任命に同意しませんでした。

この1名について、新たな委員の同意を求めたものです。

19名は、本年7月1日から平成33年6月30日までの3年間の任期となります。

【新委員】

・薄井 勇男 (小口、64歳)

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

石川 周一 氏 (再任)

9月30日に任期が満了となる石川周一氏(馬頭)を再任して、法務省に推薦することについて、議会の意見を求められたことから、異議なく賛同しました。

なお、現在の人権擁護委員は7名です。

条例改正

◆税条例等の一部改正

(全員賛成 原案可決)

地方税法等の改正により、個人住民税の基礎控除額等の見直しや町たばこ税の税率引き上げのほか、固定資産税のわがまち特例などを改正したものです。



固定資産税の「わがまち特例」ってなに？

☐ 地方税法の「地域決定型地方税制特例措置」のことを通称「わがまち特例」と呼んでいます。

地方税法で一律に定めていた固定資産税の課税標準や特例措置を、法律の定める範囲内で、地方自治体が地域の実情に応じて自主判断し、特例率を条例で定めることができる仕組みで、平成24年度から導入されました。

那珂川町では、太陽光発電施設に関する特例などがあります。

◆那珂川町旧本庁舎解体工事請負

契約の締結

(全員賛成 原案可決)

旧本庁舎の解体工事について、一般競争入札により、川崎工業株

式会社と、5562万円の請負契約を締結するものです。

工期は、平成31年1月10日までです。

◆那珂川町旧小川庁舎解体工事請負契約の締結

(全員賛成 原案可決)

旧小川庁舎の解体工事について、一般競争入札により、富士越建設株式会社と、7722万円の請負契約を締結するものです。

工期は、平成31年3月20日までです。

小川庁舎内の小川出張所は、本年10月を目途に、小川総合福祉センターすこやか共生館内に事務所を移転する予定です。

◆那珂川町ケーブルテレビ小川サブセンター設置工事請負契約の締結

(全員賛成 原案可決)

小川庁舎の解体に伴い、ケーブルテレビ施設の小川サブセンターの移設工事について、一般競争入札により、富士通ネットワークソリューションズ株式会社関東支店と、1億8316万8000円の請負契約を締結するものです。

工期は、平成31年1月11日まで

です。

小川サブセンターは、小川庁舎内に設置されていますが、小川庁舎解体により、小川庁舎北側に移設します。

◆馬頭小学校校舎大規模改修工事(特別教室棟) 請負契約の締結

(全員賛成 原案可決)

馬頭小学校の特別教室棟の改修工事について、一般競争入札により、鈴木建設株式会社と、1億8036万円の請負契約を締結するものです。

工期は、平成30年12月14日までです。

馬頭小学校校舎大規模改修工事は、平成29年度の繰越事業として実施するものです。

質問 入札参加条件は。

【答弁】 ①単体によること、②入札参加資格で総合点数または評価点数値で一定水準以上であること、

③建設業法に基づく特定建設業の許可を有していること、④那珂川町、那須烏山市、大田原市に本店がある会社であること、⑤同種・類似工事を元請として施工した実績があること。

報 告

◆平成29年度那珂川町一般会計繰越明許費繰越計算書

3月定例会において、平成30年度に繰り越すことを議決した、8事業総額4億9774万円の繰越明許費について報告がありました。

- ・ 地方道路交付金事業
- ・ 馬頭小・馬頭中・小川中学校施設整備事業
- ・ 学校給食センター設備改修事業
- ・ 林道維持管理事業

など

◆株式会社まほろばおがわ経営状況

第3セクター「株まほろばおがわ」第17期(平成29年度)の営業・決算報告と、第18期の事業・収支計画の報告がありました。

○経営の内容

入館者 10万7千人
売上げ 8862万円
損失 1186万円

陳情と意見書

栃木県不幸な動物を無くす会
平山俊幸 氏
審査経過

教育民生常任委員会に審査付託
審査日 6月6日
審査結果 採択(全員賛成)

◆東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情

陳情者
原発いらぬ栃木の会
代表 大木一俊 氏
審査経過
総務産業常任委員会に審査付託
審査日 6月6日
審査結果 採択(全員賛成)

◆東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出

(全員賛成 原案可決)

「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」の採択に伴い、経済産業大臣ほか関係行政庁に意見書を提出することを決定しました。

(提出先)

- ・ 経済産業大臣
- ・ 原子力規制委員会委員長
- ・ 茨城県知事
- ・ 東海村長ほか隣接5市首長

◆犬猫の不妊、去勢手術費用助成制度設置の陳情

陳情者

【広報委員会より】表紙は縦写真を基本としています。写真によって横になることもあります。ご理解願います。

第2回議会
5月臨時会

議員13名の初議会

議長に 小川 洋一 議員(4期)
副議長に 川上 要一 議員(4期)
議会選出監査委員に 益子 明美 議員(4期)

平成30年第2回那珂川町議会臨時会は、議員の任期満了（4月30日）による新体制の初議会として、5月8日に招集されました。

町長からは、税条例の一部改正の専決処分と議会選出監査委員の任命同意の2件が上程され、両議案は可決されました。

《議会の構成については、6月10日発行の臨時号で紹介しています。》

選挙

◆議長の選挙 (投票)

年長議員の小川洋一議員を臨時議長として、議長選挙が投票により行われ、小川洋一議員（4期）が議長（第10代）に当選しました。小川洋一議員は、第3代議長（平成20年5月2日～21年9月15日）に続き、2度目となります。

○投票結果

(有効投票13票)

小川 洋一 12票

無効票 1票

◆副議長の選挙 (投票)

副議長選挙が投票により行われ、川上要一議員（4期）が副議長（第9代）に当選しました。

○投票結果(有効投票13票)

川上 要一 12票

無効票 1票

◆南那須地区広域行政事務組合議会議員の選出 (投票)

南那須地区広域行政事務組合規約に基づき、那珂川町議会から6名の議員を投

票により選出しました。

○投票結果(有効投票13票)

小川 正典 2票(当選)

鈴木 繁 2票(当選)

石川 和美 2票(当選)

益子 明美 2票(当選)

大金 市美 2票(当選)

阿久津武之 2票(当選)

川俣 義雅 1票

委員会

◆常任委員の選任

総務産業常任委員会の委員7名、教育民生常任委員会の委員6名を決定しました。

◆議会運営委員の選任

議会運営委員会の委員5名を決定しました。

◆議会広報特別委員会の設置 (全員賛成 原案可決)

議員発議により、議会だよりの編集・発行のため、議会広報特別委員会の設置が提案され、委員6名が決定しました。

◆監査委員の選任同意 (全員賛成 原案可決)

益子 明美 氏 (新任) 小川洋一前監査委員の議員任期満了により、議会選出の監査委員として、益子明美氏の選任に異議なく同意しました。

なお、那珂川町の監査委員は、岡洋一代表監査委員(識見者)と議会選出監査委員の2名です。

専決処分

◆税条例の一部を改正する条例の専決処分 (全員賛成 承認)

地方税法等の一部改正が4月1日施行されたことに伴い、法人町民税の延滞金の計算日数の控除や、固定資産税の土地の負担調整措置の適用期間の延長などに伴う所要の改正をしたものです。

地方自治法等の改正が3月31日公布4月1日施行のため、那珂川町税条例の一部を改正する条例を専決処分したについて報告されました。

人事案件

【モニターより】 決算期の議会だよりに、特別会計や企業会計への一般会計からの繰入状況を明示してほしい。

第2回臨時会(5月8日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	福田	吹場	大金	川俣	益子	小川	鈴木	石川	益子	大金	川上	阿久津	
			浩二	寿郎	清	義雅	純恵	正典	繁	和美	明美	市美	要一	武之	
副議長の選挙		議長提出	投票												
常任委員の選任		議長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員の選任		議長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南那須地区広域行政事務組合議会議員の選出		議長提出	投票												
発議第1号	議会広報特別委員会の設置について	議員提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	那珂川町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	那珂川町監査委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会の閉会中の継続調査について		委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育民生常任委員会の閉会中の継続調査について		委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会の閉会中の継続調査について		委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報特別委員会の閉会中の継続調査について		委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※小川洋一議長は採決に加わりません。

第3回定例会(6月7日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	福田	吹場	大金	川俣	益子	小川	鈴木	石川	益子	大金	川上	阿久津
			浩二	寿郎	清	義雅	純恵	正典	繁	和美	明美	市美	要一	武之
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町農業委員会委員の任命同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町税条例等の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町旧本庁舎解体工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川町旧小川庁舎解体工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町ケーブルテレビ小川サブセンター設置工事請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	馬頭小学校校舎大規模改修工事(特別教室棟)請負契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	犬猫の不妊、去勢手術 費用 助成制度 設置の陳情について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※小川洋一議長は採決に加わりません。

【広報委員会より】次回発行が決算内容のお知らせになりますので、検討したいと思います。

一般質問！ 川俣義雅議員

- Q 学校給食について
- Q 放射性廃棄物の搬入問題について

町民アンケートで回答者の9割が搬入反対

(町長) 町民の圧倒的多数の反対となるかどうかは計り知れない



川俣義雅議員

学校給食を無料に

質問 子どもたちの食生活の変化をどのように認識しているか。

答弁 食の大切さに対する意識が低くなっており、健全な食生活が失われつつある。

質問 朝食の欠食の状況を伺う。

答弁 小学5年生と中学2年生を対象とした昨年の調査によると、朝食抜きの小学5年生は2%、中学2年生は4・6%。

質問 家庭が負担している教育費の中で給食費の割合は。

答弁 小学生で約52・3%、中学生で約33・9%。

質問 憲法第26条には義務教育はこれを無償とするであり、給食費も含めて教育費を無償にすることが求められているのではないか。

答弁 アレルギーを持った子の給食を保障するための取組みを伺う。

質問 保護者からの情報に基づき、アレルギー対応の献立表を配布し、食材の飲食の可否を確認して配食時に除去しているが、代わりの物を出すことはなかなか困難。

質問 給食を等しく保障するために頑張ってもらいたい。

答弁 アレルギーを持つ児童・生徒数の状況を見ながら、調査・研究していきたい。

質問 大田原市などの先行自治体からも学び、給食費の公費全額負担に踏み切る考えはあるか伺う。

答弁 学校給食法で、食材料費等は保護者負担と規定されている。

学校給食費の完全無料化は、他市町の動向を参考としながら研究していきたい。

放射性廃棄物の搬入問題

質問 1キログラム当たり8000ベクレル以下の放射性廃棄物について、那珂川町が処分を引き受けなければならないと考えるか。

答弁 県営処分場の運営は県で、受入れは県が決めることだが、町の意見は言っていく。

質問 馬頭処分場は特別民間会社のクリーンテック栃木が運営する。仮置きされている放射能汚染廃棄物の受入れは、仕方がないからか、受け入れる方が良いからか、それ以外の理由からなのか伺う。

答弁 受け入れるとも何とも言うていない。

質問 搬入のレベルを協議すると、受け入れることを前提にそのレベルを協議するものとなるか。

答弁 産廃には焼却場から出た焼却灰も含まれ、受入れにあたって、その数値を県と協議するもの。

質問 仮置きされている放射性廃棄物の搬入あるいは後に、放射能漏れや事故などは考えられないか。

答弁 仮置きされている汚染物は、放射性廃棄物と認識していない。

質問 県内には、8000ベクレル以上の指定廃棄物と8000ベクレル以下のものが合わせて約12万トンあるというが、搬入することになっても安全と言えるか。

答弁 指定廃棄物は国の管轄で、8000ベクレルを下がったものは搬入もあるかもしれない。そのレベルを県と協議していく。

南那須広域で焼却されるものは一般廃棄物であり、一般廃棄物は県営処分場に搬入しない。

質問 放射能に汚染され仮置きされているものを搬入すると、実害が起きるのではないか。

答弁 搬入車両通行による影響はほとんどないと考えている。

質問 風評被害が起きた場合、協定の訂正はありえるのか。

答弁 風評被害が明確になった場合、県と協議し、補償も求めるものと考えている。

質問 共産党那珂川支部が実施した町民アンケートでは、回答者200人の90%が受入れ反対だった。このことをどのように考えるか。

答弁 200人のうちの多数とは認識するが、町民全体の圧倒的多数となるのかどうかは計り知れない。

【モニターより】51号の議案採決状況は、文字が小さくて読みにくい。

道の駅駐車場の拡張の考えは

(町長) 具体化はないが、用地取得も含めて県に要望していく

「道の駅ばとう」の利用状況と駐車場

質問 道の駅ばとうの、近年の利用状況を伺う。

答弁 平成27年は約47万人、28年、29年は年間40万人程度である。

質問 今後、たくさんのお客様に来てもらうために、どのようなことが必要と考えているか。

答弁 お客様の少ない冬の品ぞろえや、利用時間帯によって少ない時のイベントの開催、お客様の回転を速めるなどの接客面での改善が必要と考えている。

質問 国土交通省の道の駅の基本コンセプトである「休憩機能」「情



鈴木 繁議員

報発信機能」「地域の連携機能」は機能しているか伺う。

答弁 休憩機能としては、24時間無料利用の駐車場、トイレや屋内外の休憩スペース、情報発信機能としては、道路状況や地域の観光情報の発信、地域連携機能では、地域物産品の販売、飲食施設など、地域振興を図っている。

質問 土日祝祭日などは駐車場の満車状態が多いため、駐車場を拡張する考えはあるか。

答弁 隣接地に拡張することが理想だが、住宅や神社などがあり、地形上の段差がある。用地取得も含めて管理者の県に要望していきたい。

質問 駐車場拡張に向けての候補地の考えを伺う。

答弁 南側が適地と考えられるが、具体化はしていない。

町民の健康促進のために

質問 町の健康診断で、ピロリ菌検査の申し込みができるようになる考えはあるか。

答弁 任意項目として実施する方向で検討していきたい。

質問 若いうちのピロリ菌除菌で胃がんの発症率を大きく下げることができるところから、中学3年生を対象にピロリ菌検査を実施する考えはあるか。

答弁 フォロー体制整備の必要や除菌薬の副作用などがあり、成長過程の子どもには慎重に対応する必要があるので、実施する考えはない。

質問 来庁者が気軽に健康管理チェックをできるよう、庁舎や主要な公共施設に血圧計を設置してはどうか。

答弁 現在は、すこやか共生館、健康管理センターに設置されている。新庁舎については設置する方向で検討していく。

まほろば温泉に新しい源泉を

質問 昨年4月の入場料値上げから、入館者数の推移を伺う。

答弁 平成28年度は12万4千人、改定後の29年度は10万7千人で、1万7千人程度が減少している。

質問 源泉施設の現状について伺う。

答弁 平成28年度の坑内調査の結果、地表から100m付近に明瞭

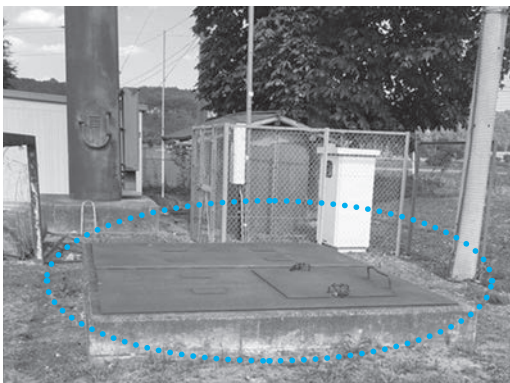
な地下水噴出が見られ、鋼管破損が予想される。全体的に経年劣化が進んでいる状況にあると考えている。

質問 28年度調査結果により、どのような検討結果となったのか。

答弁 すぐに使用不能となることはないが、正常に揚湯されている間に新たな井戸の掘削を検討すべきとの意見であるが、具体的な検討までは進んでいない。

質問 新たな源泉を掘る考えはあるか伺う。

答弁 良質の温泉であり同じ湯質の脈で掘りたいが、町単独では多額の費用がかかるため財政支援等も含め検討していきたい。



小川運動場内の南側にあるまほろば温泉の源泉施設

【広報委員会より】採決状況は1ページで収めるようにしています。文字が小さいかもしれませんが、正しい内容をお知らせするため、ご理解願います。

一般質問！

鈴木

繁議員

ここが聞きたい

- Q 「道の駅ばとう」について
- Q 町民の健康促進について
- Q まほろば温泉について

一般質問！ 益子純恵議員

新生児聴覚検査の早急な公費助成の開始を

(町長) 子育て家庭の経済的負担軽減から公費助成を検討したい



益子純恵議員

新生児聴覚検査の公費助成を

質問 当町の新生児聴覚検査の受診状況を伺う。

答弁 「こんにちは赤ちゃん事業」として、保健師が訪問して受診状況及び結果を確認している。

質問 早期発見、早期療育につなげる切れ目ない子育て支援の一環として、新生児聴覚検査の公費助成をすべきと考えるが。

答弁 妊娠、出産期から子育て期にわたる切れ目ない支援を推進しており、子育て家庭の経済的負

- Q 新生児聴覚検査の公費助成について
- Q 高齢者の熱中症対策について
- Q 親子・児童の遊び場について
- Q 郷土愛を育む学校給食メニューについて

担軽減の観点から公費助成を検討したい。

平成31年度4月以降に生まれた新生児から受診できるように考えている。

高齢者の熱中症予防のために

質問 高齢者の熱中症予防の対策を伺う。

答弁 平成28年度から一人暮らし高齢者を対象に温湿度計、予防パンフレットを配布しているほか、高齢者の見守りを目的に、緊急通報装置設置事業のお元氣コールでの声かけや、配食サービスにおいて注意喚起を行なっている。

質問 経口補水液の周知・配付や、ケーブルテレビや音声告知放送で危険性を訴えたり、ケアマネージャーとの連携などをしては。

答弁 高齢者と多く接する職員から声をかけてもらうよう周知していきたい。経口補水液の配付については検討していきたい。

子育て環境の向上のため親子・児童の遊び場の早急な整備を

児童の遊び場の早急な整備を

質問 馬頭総合福祉センター(以下「センター」)に隣接する「子供広場」の遊具が利用できない原因を伺う。

答弁 設置から22年経過しており、トンネルスライダの内部破損のため、全面使用中止とした。

質問 子供広場の今後の活用は。



子供広場の複合型遊具

答弁 遊具は撤去を行う方針で、センター周辺整備を含めて活用を検討していく。

質問 子育て世代、世代間の交流の場でもあり、安心して遊ばせられる環境を早急に整備すべきでは。

答弁 新庁舎の周辺整備もあり、各課、町民、子育て世代の意見を聞きながら検討していきたい。

質問 センター内の「おかあさんといっしょの広場」の利用状況は。

答弁 一日平均約10名の保護者、子どもの利用がある。

質問 「おかあさんといっしょの広場」の休日利用の検討は。

答弁 社会福祉協議会で実施しており、休日の職員対応などの課題があるため、社会福祉協議会と協議していきたい。

郷土愛を育む学校給食メニューを

質問 学校給食での地域の食文化、自然の恵みに対する食育の状況を伺う。

答弁 那珂川町産の農産物を活用して地域の食料事情を理解できるようにしている。

質問 郷土の食文化、名産を体験、理解できる食事メニューを提供しはどうか。

答弁 郷土の食文化や地産地消に配慮した学校給食を実施していきたい。

【モニターより】51号の色使いは、目が疲れなくて良かった。

デマンド交通、町内自由運行で利便性向上を

(町長) 便数や指定乗降場所を見直し利便性向上に努める

交通弱者の足の確保と

公共交通網の整備

質問 デマンド交通の年間利用者が平成24年の1万8018人をピークに年々減少しているが、その要因をどのように考えているのか。

答弁 自家用車等の交通手段を持たない方の減少と新たな利用登録者が少ないことに起因するものと考えている。

質問 若い人や児童・生徒が塾やスポ少などに利用できるように、時間やルートを検討していくべき

ではないか。

答弁 体験的な乗車やPRも検討していきたい。

質問 利用者減少の要因の一つとして、行き先の選択肢の少なさがあると考えます。

サービス向上や利用者増のため、現状のルート方式から町内自由運行に切り替える考えは。

答弁 運行車両の不足や運行時間の長時間化で便数の減少が懸念され、事業者との協議では実施困難とのことである。

便数や指定乗降場所の見直しなど、利用者の利便性向上に努める。

質問 年々赤字増加傾向にある東野交通路線（氏家馬頭線・西那須野線）について、町の財政負担を減らし、利便性向上のために、デマンド交通で代替えできないか。

答弁 東野交通路線は距離が長く、利用者のほとんどが高校生であり、路線バスでの運行が適切と考えており、デマンド交通での代替運行は困難である。

認知症対策と認知症カフェ

質問 認知症に対する正しい理解と知識を学んだ認知症サポーターの活動方を伺う。

答弁 平成29年度までで937名が認知症サポーター養成講座を修了し、地域のボランティアとして活動している。

地域の見守りや声かけ、介護施設等への行事参加など、できることから行なってもらいたい。

質問 設置予定の認知症カフェは、どのような場にする考えなのか。

答弁 地域の方が自由に参加できる交流スペースを想定しており、福祉事業者と協議し、地域住民や福祉事業者等と協働して推進していきたい。

質問 認知症境外外来受診で烏山台病院に行くことが困難との声もあり、通院の足の確保対策として、デマンド交通や福祉タクシー券を利用できないか。

答弁 町では、物忘れ相談を月1回予約制で実施しており、希望者には精神科医の相談も実施しているため、積極的に利用してもらいたい。

たい。高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題で、関係機関が協力し、サービスの充実に向けて検討を進めていく。

一般県道矢又大内線の

矢又大内線の道路整備

質問 災害や火災時の地域住民の安全性確保のため、鷲子山上神社への参拝者や観光客の利便性と安全性確保のため、県道拡幅、または新たな町道建設など、早急に整備すべきと考えるが。

答弁 平成27・28年度に数カ所の待避所が設置されたが、観光客の車両が増加して対応できていないことも事実である。県道改修を前に地元行政区と協力し、機会あるごとに県に要望していく。



待避所が数カ所あるが、正月三が日は国道への一方通行に

ここが聞きたい

一般質問！

益子明美議員

益子明美議員

Q 交通弱者の足の確保と公共交通網の整備について

Q 認知症対策と認知症カフェについて

Q 一般県道矢又大内線の矢又大内線の道路整備について

一般質問！ 大金 清議員

- Q 農林業における地域の活性化について
- Q 子育て支援について
- Q 安全・安心な防災減災について

将来に向けての農林業の後継者対策をどのように考えているか

(町長) 最重要な課題として取り組まなければならない



大金 清議員

町外からの就農者の確保を

質問 町外からの就農者の確保対策を伺う。

答弁 町内の就農支援情報、賃貸可能な農地、農業施設、農業機械、住宅等をバンク化し、栃木県新規就農相談センターから提供のある就農希望者に即時に提供できる体制を整備したい。

質問 就農者の相談に対して、具体的な支援策を伺う。

答弁 農業経営においては国事業の経営開始型事業による年間

150万円の運営補助や、町単事業についても、園芸施設や園芸作物振興対策事業などの補助事業がある。

質問 認定農業者の現在数と、今後の推移の考えを伺う。

答弁 認定農業者数は、今年度4月で142名。今後は、Uターンや定年退職後の就農と、高齢化による離農を考慮し、ほぼ横ばいで推移すると考える。

質問 認定農業者の条件を伺う。

答弁 5年間で農業所得500万円以上、年間就農労働時間2000時間以内の農業経営改善計画を提出し、町が審査して認定する。

質問 町外からの就農者数と、今後の見通しを伺う。

答弁 平成25年以降で9名。今後の見通しは、現在は就農希望者が売り手市場の状況のため、しばらくは厳しい状況が続くと思

われる。

移住定住を促進する上でも、町外からの就農者確保に積極的に対応していきたい。

質問 町外からの就農者が安心して定住できるサービス、サポートを伺う。

答弁 当町で生活でき、農業が自立経営できるビジョンを策定し、積極的に募集することで新規就農者を確保していきたい。

質問 子育て家庭の経済的負担の軽減を

新たな取組みとして、結婚祝い金創設の考えについて伺う。

答弁 祝い金などによる経済的支援よりも現物給付的な方法によって結婚生活を支援したいと考えている。

国の結婚新生活支援補助金交付事業を昨年度から活用しているが、その中で、県内市町の動向を見極めながら町独自の施策を研究していきたい。

質問 出産費用が60万円前後で、出産育児一時金支給額は42万円。差額分の負担軽減のために公費負担の検討を提案する。

答弁 出産育児一時金は健康保険法等に基づく保険給付となる。

現物給付的な方法によって新

な町民の誕生を支援したい。

安全・安心な防災・減災のために

質問 震災に対して、危険個所を把握しているか伺う。

答弁 急傾斜地指定区域については、地域防災計画等で把握しており、警戒区域は防災マップにも記載している。

質問 災害から生命・財産を守るための避難訓練の重要性について伺う。

答弁 有事に備えるため、避難訓練は重要なものと考えている。

行政区長会議で行政区長にも依頼しているが、最も身近な自主防災組織である行政区を中心に、防災の啓発及び避難等の訓練を実施していただきたい。

質問 災害時は迅速で正確な情報発信、関係機関との情報連携が必要であり、町としても取り組んでもらいたい。町長の任期中に実施する考えはあるか伺う。

答弁 実施地域を増やすとともに、例えば、各学校が避難所にもなっていることから、旧小学校エリアを単位としてできればと考える。

【モニターより】51号の表紙写真は、遠近法で視覚を捉えており大変良い。

観光客の集客にネットを活用したPRが必要では

(町長) 関係機関と連携して旬な情報提供に取り組んでいく

観光客の集客

質問 旬な情報を提供できるよう、町ホームページをバージョンアップする考えはあるか伺う。

答弁 行政全般の内容について掲載しており、観光を中心に掲載することは難しいが、見やすくわかりやすい旬な情報を届けられるよう、観光協会や商工会等と連携して調査研究していきたい。

質問 観光名所へ行く道路で狭い箇所があるが、拡幅するなど整備する考えはあるか伺う。

答弁 観光客の利便性の向上、地元住民の安全確保のため、国県等の関係機関と連携して進めていきたい。

質問 「いわむらかざお絵本の丘美術館」へ通じる町道小口長峰線の整備状況について伺う。

答弁 総延長約2km区間について、今年度は詳細設計、地元説明会を開き、今後、順次工事に入っていく予定である。

質問 観光センターの活性化のために、町職員を観光センターに派遣する考えはあるか伺う。

答弁 観光協会には雇用創出事業により増員されており、職員派遣は考えていない。

質問 観光センターの活性化を図るため、観光センターと創生なかがわを合併する考えはあるか伺う。

答弁 観光協会と創生なかがわは、業務目的、業務内容で重なる業務が多くあると認識しているが、団体の意向等を尊重しながら

進めるべきと考える。

生ごみ回収

質問 生ごみの経費と費用対効果の見込みを伺う。

答弁 平成28年度に開始し、29年度は、対象地区の73%1325世帯で、生ごみバケツ回収運搬や堆肥化処理費など1269万円を予算化した。

29年度排出量は182.5トンとなり、南那須広域へのごみ処理負担金の軽減につながるものと考えている。

質問 生ごみ回収を町内全域に拡充していく考えはあるか伺う。

答弁 町全体で生ごみの堆肥化事業に取り組んだ場合、家庭系可燃ごみ量の約9%の抑制が考えられ、南那須広域へのごみ処理負担金も大幅な減額が考えられるため、町全体の拡充を検討したい。

質問 雑紙などの資源化事業をどのように考えているのか伺う。

答弁 行政区、老人クラブ、子供育成会などを対象に、新聞や雑紙、段ボール、空き瓶、空き缶を団体等が回収して業者に販売した場合、1キロ当たり5円の報償金

を交付する「資源ごみ回収報奨金制度」を設けている。

町全体で制度を活用してもらえよう、町ごみ分別ハンドブックにも掲載したところであり、循環型社会の実現や地域の活性化、広域行政のごみ処理負担金の大幅な軽減のためにも、町民の協力をお願いしたい。

那須南病院まで

デマンドタクシーを

質問 那須南病院は広域の総合病院であり、多くの町民が那須南病院への運行を切望している。特に公共交通手段のない東回り地区の住民には深刻な問題である。

デマンドタクシーを那須南病院まで延長する考えはあるか伺う。

答弁 デマンドタクシーは、高齢者のみならず町民の生活交通手段の確保を図るために町内に限定しており、運行業者においても町内運行として事業認定を受けている。

那須南病院までは、既定路線のコミュニティバス馬頭烏山線が運行されていることから困難である。

ここが聞きたい

一般質問！ 小川正典議員



小川正典議員

Q 観光客の誘客対策について

Q 生ごみ回収について

Q デマンドタクシーの乗降場所の追加について

【広報委員会より】51号の表紙写真は「並木」であることから、奥行きのある構図にしました。

「遠近法」とおっしゃっていただき、嬉しく思います。

常任委員会の所管事務調査

町の事務事業を調査しました

■ 総務産業常任委員会(6月25日)

■ 教育民生常任委員会(6月27日)

総務産業常任委員会

6月25日、次の6項目について現地調査・机上調査を行いました。

- ① 創生なかがわ株式会社の運営状況

- ② デマンド交通システムの運行補助

- ③ まほろばの湯観光施設の管理運営状況

- ④ 町道改良舗装事業(一渡戸大鳥線)

- ⑤ 田舎暮らし体験ハウス整備事業

- ⑥ 上水道原水設備工場の状況(荒沢浄水場)

調査結果について、町長に対して、次のように意見書を提出しました。

◆①H28年10月に設立された創生なかがわ株式会社は、町活性化のために、民間ならではの挑戦や試行に取り組む状況を調査しました。

意見書 利益を確保できる事業を精査し、町活性化のために努められたい。

◆②デマンド交通システムの運行補助では、担当課の説明とともに、受託している馬頭観光タクシー(株)の声を伺いました。

意見書 利便性のPRとともに利用方法の周知に一層努められたい。

また、免許証返納者の移動手段として乗降場所のさらなる増設に努め、住民ニーズにより応えられたい。

◆④町道改良舗装事業では、工事が一時ストップしてしまった一渡



④工事再開が待たれる町道一渡戸大鳥線(サンコーポラス馬頭入口丁字路)

戸大鳥線での工事現地を調査しました。

意見書 危険箇所回避のため、全線拡幅の早期実現を強く希望する。

◆⑤大山田下郷高手の里に整備された田舎暮らし体験ハウス整備事業では、活用とともに、移住定住の連携について調査しました。

意見書 当初目的の定住促進のため、関係課の横断的連携を強化してきめ細かな施策を実現されたい。



⑤完成した田舎暮らし体験ハウス、畑あり

【モニターより】カラー写真は表紙のみの使用で、費用の節減のためにも、特別な写真以外は2色刷りでよい。

教育民生常任委員会

6月27日、次の7項目について
現地調査・机上調査を行いました。

- ① 不法投棄対策事業（高岡地区
ごみステーション）
- ② 馬頭総合福祉センター施設及
び周辺整備状況
- ③ 馬頭放課後児童クラブ運営
事業
- ④ 平成29年度新規子育て支援事
業（産前産後サポート事業、産
後ケア事業、産婦健診助成事業、
育児パッケージ贈呈事業）
- ⑤ 小川中学校ネットフェンス改
修事業
- ⑥ 馬頭小学校校舎大規模改修
事業
- ⑦ 馬頭広重美術館運営事業（小
倉擬百人一首接見）

調査結果について、町長に対し
て、次のように意見書を提出しま
した。

◆①ごみステーションでは、悪質
なマナー違反が見られ、マナーの
遵守・向上が図られた一例とし
て、高岡地区ごみステーションを
調査しました。



①きれいになった高岡地区ごみステーション
（この日は、ペットボトルの回収日でした）



②馬頭総合福祉センター北側の元ゲートボール場
（手前、現駐車場）と子供広場（奥）



⑤小倉擬百人一首（一部）
（左）90番 殷富門院大輔 （右）89番 式子内親王
歌川広重画 三代歌川豊国画

意見書 高岡地区ごみステー
ションの環境整備成功事例を参考
に、各ごみステーションの環境整
備と利用者のモラル啓発に努めら
れたい。

◆②馬頭総合福祉センター施設及
び周辺整備状況では、使用されて
いない設備や老朽化の状況を調査
しました。

意見書 馬頭総合福祉センター
の一般浴室及び居室の有効活用が
図られておらず、また、老朽化に
よる修繕費の負担が生じており、
今後の活用の方向性を再度、十分
に検討されたい。
また、子供広場及び元ゲートボ

ール場敷地が活用されていない現
状に鑑み、当該敷地に管理所周辺
を含め、駐車場や公園などの再整
備を検討されたい。

管理所については、地域おこし
協力隊事務所としての使用のほ
か、さらなる有効活用のため、空
調機器の修繕を早々に実施され
たい。

◆③馬頭放課後児童クラブ運営事
業では、馬頭小学校大規模改修工
事に伴う仮設建物と業務委託の内
容を調査しました。

意見書 指導員の十分な適正配
置とさらなる資質向上を指導され
たい。

◆④子育て支援事業では、平成29
年度からの新規事業の状況を、聞
き取り調査しました。

意見書 対象者への事業周知と
ともに、移住促進に資するPRに
も努められたい。

◆⑤馬頭広重美術館運営事業で
は、故成島行雄氏からの寄託を受
けていた「小倉擬（なぞらえ）百
人一首」が、寄託契約期間満了に
よって、妻・成島彰子氏より寄贈
されたことから、この一部を接見
し説明を受けました。

意見書 早期公開を図り、一つ
の起爆剤として入館者増に努めら
れたい。

【広報委員会より】表紙・裏表紙はフルカラーで、中味は2色刷りとしています。

《常任委員会の経過》

総務産業常任委員会

開催日 5月8日

内容

臨時会において、正副委員長を互選しました。

委員長 石川和美

副委員長 大金 清

委員 員 福田浩二 川俣義雅

益子明美 大金市美

小川洋一

開催日 6月6日

内容

「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」(原発いらぬ栃木の会提出)の審査を行い、採択すべきものと決定しました。

本会議で採択された場合、意見書に関係行政庁に提出するための議案を提出することとしました。(3頁参照)

また、所管事務調査先の検討や、所管課長との意見交換などを行いました。

開催日 6月25日

内容

所管事務調査を実施しました。(12頁参照)

教育民生常任委員会

開催日 5月8日

内容

臨時会において、正副委員長を互選しました。

委員長 鈴木 繁

副委員長 益子純恵

委員 員 吹場寿郎 小川正典

川上要一 阿久津武之

開催日 6月6日

内容

「犬猫の不妊、去勢手術費用助成制度設置の陳情」(栃木県不幸な動物を無くす会提出)の審査を行い、採択すべきものと決定しました。(3頁参照)

また、所管事務調査先の検討や、所管課長との意見交換などを行いました。

開催日 6月27日

内容

所管事務調査を実施しました。(13頁参照)

《特別委員会の経過》

議会広報特別委員会

開催日 5月8日

内容

臨時会において、議会広報特別委員会の設置が議決され、正副委員長を互選しました。

委員長 益子純恵

副委員長 吹場寿郎

委員 員 福田浩二 大金 清

川俣義雅 石川和美

開催日 5月26日、6月5日

内容

議員改選を受け、新議会の組織構成をお知らせするため、「議会だより 臨時号」(6月10日号)発行のため、編集会議を行いました。

開催日 6月26日、7月23日、8月2日

内容

議会広報紙「議会だより なかがわ」第52号(当号)発行のため、編集会議を行いました。

塚田秀知前議長

肖像写真を掲額

6月5日、議員控室において、6月定例会開会に先立ち、第9代議長塚田秀知前議長の肖像写真を掲額いたしました。



新旧議長による除幕

議会事務局からのお知らせ

人事異動(4月1日付)により、議会事務局が、次のとおりとなりました。

事務局長(新) 笹沼 公一
書記(局長補佐) 岩村 房行
書記(係長) 長家佳奈子

退任

事務局長 高林 伸栄
併任書記 村上 明美
併任書記 五月女倫子

石川県津幡町議会
議会広報調査特別委員会

視察日 8月2日
内容

石川県津幡町（定数16）の議会
広報調査特別委員会の委員等7
名が来町し、議会広報モニター制
度や議会広報紙の編集について、
那珂川町議会の状況を視察しま
した。



議長（右）の進行で説明する委員（左側）

議会の日程と内容

（Pは記事の掲載場所です）

平成30年 5月	8日	平成30年第2回議会臨時会（初議会）（P4～P5） 総務産業常任委員会・教育民生常任委員会・議会運営委員会 議会広報特別委員会（各委員会とも正副委員長互選）
	8日	議会広報特別委員会（第1回）
	10日	議会だより第51号発行
	23日	南那須地区広域行政事務組合議会臨時会
	25日	全員協議会（6月議会）
	25日	議会広報特別委員会（第2回）
	30日	議会運営委員会
6月	5日～7日	平成30年第3回議会定例会（P2～P5）
	5日	議会広報特別委員会（第3回）
	6日	総務産業常任委員会（陳情審査、所管事務調査検討外）
	6日	教育民生常任委員会（陳情審査、所管事務調査検討外）
	10日	議会だより臨時号発行
	20日	全員協議会（環境保全協定案）
	25日	総務産業常任委員会（所管事務調査、P12）
26日	議会広報特別委員会（第4回）	
	27日	教育民生常任委員会（所管事務調査、P13）
7月	13日	議会運営委員会
	23日	議会広報特別委員会（第5回）
8月	2日	石川県津幡町議会 議会広報調査特別委員会 視察来町
	2日	議会広報特別委員会（第6回）
	8日	議会運営委員会
	10日	議会だより第52号発行



那珂川町地域資源活用協同組合

理事 鈴木栄子さん

(小川)



なかちゃんが聞きました。

Q マンゴーって、南国フルーツなの？

A 木くずやチップを燃やして熱を作る「木質バイオマスボイラー」の余った熱をハウスに引いて作っているのよ。木くずのリサイクル、もったいない“精神”ね。

Q お仕事は何ぞ？

A 材木店で、取締役なのよ。

Q 材木店なのに、マンゴー？

A 那珂川町の木が有効に活用されるといいなと思って、大好きなマンゴーの栽培を平成24年に始めたの。

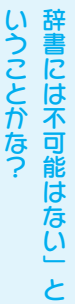
Q マンゴー栽培って難しいでしょ？

A 害虫や病気にも気を使うけど、真冬に25度をキー



木質バイオマスボイラーのハウスですくすくと育つ「ながよしマンゴー」これから赤くなっていきます

ひらめきとアイディア、「言葉の辞書には不可能はない」ということかな？



A 「那珂よし」と「仲よし」の両方の意味でつけたの。

Q 「ながよし」って？

A J R 東日本の豪華寝台列車「TRAIN SUITE 四季島」の車内デザートに採用されたの。とてもびつくりしたけど、嬉しいわね。

Q なかよしマンゴーの「ながよし」って？

A 「那珂よし」と「仲よし」の両方の意味でつけたの。

Q そんな苦労があつて、すごく甘いながよしマンゴーができるんだね。

A 南国産より甘いのも、「那珂川町でマンゴーができるの!」ってびっくりされると、嬉しくなるわ!

「那珂川町には山あり川ありきれいな花が咲いて、美味しいものもたくさんあるんだよ」って自慢するの。

Q 実はすごいニュースがあるんだって？

A J R 東日本の豪華寝台列車「TRAIN SUITE 四季島」の車内デザートに採用されたの。とてもびつくりしたけど、嬉しいわね。

Q なかよしマンゴーの「ながよし」って？

A 「那珂よし」と「仲よし」の両方の意味でつけたの。



間伐材活用のテラスの「あかねてらす」(谷田に今年4月30日オープン)

Q 他にも挑戦しているものは？

A コーヒーにもチャレンジしているの。焙煎がとても難しいわ。味にうるさい人も多いからね。

Q 「あかねてらす」がオープンしたみたいだけど？

A 組合運営の交流型直売施設で、組合員や賛助会員の生産物販売や出店販売もして、地域の方々と町内外の方の交流の場になってほしいわ。

Q これからの夢や希望は？

A 那珂川町の良いところをマンゴーを通してPRして、甘いマンゴーを食べて、みんなが仲よしになれたらいいなと思っています。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、9月4日 開会(平成30年第4回議会定例会)の予定です。議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

編集後記

来年5月から新元号に変わります。皆さまにとって、平成最後の夏は、どんな夏でしょうか。まずは天気。梅雨

明けは平年なら7月ですが、今年の関東は、観測史上初めて6月でした。一方、西日本では記録的豪雨で、平成最悪の被害となっていました。

スポーツでは、ワールドカップ6回連続出場のサッカー日本代表が、ロシア大会でベスト16まで駒を進めました。

今大会で100回目を迎える夏の甲子園大会。那珂川町から3名がメンバー登録されている作新学院が、県大会で見事優勝し、甲子園出場を決めました。

表紙の松野八坂神社祭禮では、数十年ぶりに本神輿で練り歩き、「久々に神輿を拝めた」との沿道の声に疲れも忘れ、飲んだビールの旨かったこと。

皆さまにとって、平成最後の夏が、良き思い出になりますように。

議会広報特別委員会

副委員長 吹場寿郎

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/

